地域の移動資源を活用した輸送システム構築

統合型輸送システムの概念図

背　景

地域の交通・物流が単独事業では成立しなくなっており
地域移動資源を組合せた新たな輸送システムが必要。

成　果

1　新たな輸送システムの実施体制構築

地域移動資源の分析、収支評価等に基づき
地元ハイヤー会社を核としたヒト・モノ統
合型輸送システムの実施体制を構築

2　統合型輸送システムの運用開始

R3年7月より順次運用を開始
効果検証のためのデータを収集中

3　システムの構築プロセスを整理

項目	調査項目
1.収支評価	(1)物流量の把握
	(2)事業収入の予測
	(3)事業支出の予測
	(4)分析
2.実施体制評価	(1)配達を担う主体把握
	(2)仕事量分析
	(3)分析
3.検証	(1)実証
	(2)収支評価
	(3)仕事量評価

他地域での活用も念頭に、システム構築
プロセスを実践ガイドの形で整理

期待される効果

地域運営組織による新たな輸送システムの構築手順を示し、それを自治体や地域住民が活用することで
持続可能な地域社会の実現に寄与する。

共同研究機関：北方建築総合研究所、十勝農業試験場、中央農業試験場、林業試験場、工業試験場、エネルギー環境地質研究所、北海道大学、北海道科学大学
（協力機関：道庁総合政策部、北海道運輸局、北海道開発局、富良野市、下川町、喜茂別町、芽室町　等）